

1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
4. 明日の彦根市を担う人を育(はくく)むまちづくり
5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

**あなたのくらしに役立つ市立図書館
素敵な本に出会う夏に
してみませんか**



市立図書館では、日ごろの生活でのうらおいや、学びたい、知りたいという要求、そして、子どもたちの読む力の向上などに役立てるよう資料をそろえてお待ちしています。夏休みに市立図書館に行ってみませんか。

お問い合わせ先 市立図書館
☎ 22-0649、FAX26-0300

◆ 開館時間 ◆
火～土曜日：午前10時～午後6時
日曜日：午前10時～午後5時

◆ 休館日 ◆
毎週月曜日、毎月第4木曜日、国民の祝日、年末年始、特別整理期間(2月中の約1週間)

本を借りてみよう

借りたい本と利用カードを貸出カウンターまでお持ちください。1人10冊までです。貸出期間は2週間以内です。

本を返すときは、返却カウンターにお願ひします。閉館しているときは、玄関のブックポストに返してください。「ちばな号」でも返せません。返却日は、次の巡回日です。

利用カードを作ろう

市内に在住・在勤・在学している人なら、だれでも作る事ができます。

手続きは簡単です。利用登録書を書いて、カウンターで申し込んでください。利用カードを発行します。利用カードは、市立図書館と「ちばな号(移動図書館)」と共通で使えます。

探している本が見つからないときは

「読みたい本を探しているが、どこにあるかわからない。」
そんなときは、職員に尋ねてもらえれば、いっしょに探します。館内にある検索用パソコンでも探すことができます。



図書館にある検索用パソコン

ホームページからも本を探せます

自宅などからでも、市立図書館のホームページで本を探したり、貸出中の本を予約したりすることができます。また、イベントやお知らせ、「ちばな号」の巡回日程など、市立図書館の情報も見ることができます。

ただし、本の予約にはパスワードの登録が必要です。免許証、保険証、社員証、学生証など本人確認ができるものを持参のうえ、カウンターでお申し込みください。

図書館を紹介します

市立図書館の歴史

大正5年に、現在の金亀児童公園内(金亀町)にあった公会堂に、県内最初の公立図書館として建てられました。

その後、本町(現在の西地区公民館)に移転しました。昭和54年に、現在の場所(尾末町)に市立図書館が建てられ、今年で31年を迎えました。



いろいろな資料が 多くあります

市立図書館では、約69万9千冊(3月現在)の本を所蔵しています。本や雑誌のほかにもいろいろな資料を収集し、保存・公開しています。

▼郷土に関する資料
創立以来、彦根市と隣接する地域(旧彦根藩領。現在の愛荘町、甲良町、豊郷町、多賀町など)に関する資料は、最優先に収集してきました。

彦根市が発行している「広報ひこね」は、昭和24年の第1号(当時は「市民の友」)から保存しています。また、彦根城や、彦根の人物・歴史に関する資料を、多数所蔵しています。

▼新聞

全国紙から地方紙まで、読むことができます。特に、昭和20年ごろから現在まで、滋賀版部分を製本し、保存しています。昔の彦根の出来事や生まれた年の新聞も調べることができます。また、より長く保存できるよう滋賀に関する地方紙のデジタル化の作業も進めています。



舟橋聖一記念文庫

彦根市名誉市民である、作家・故舟橋聖一氏(左の写真)の蔵書約1万7千冊を館内で保存・公開しています。



昭和38年に、舟橋さんの作品「花の生涯」がNHK大河ドラマの第一作として放映され、彦根は一躍有名になりました。この文庫は、舟橋家から故人の蔵書が寄贈され開設しました。また、毎年、小学生から30歳までの青少年を対象に文学作品を募集し、優秀な作品を表彰しています。

ちばな号(移動図書館)が会いに行きます

市立図書館から離れたところに住んでいる人、交通手段を使って市立図書館に來られない人のために、市内52か所にステーションを設けています。

毎月1回、「ちばな号」が巡回しています。巡回日程は、広報ひこねに掲載しています。



ご利用ください レファレンスサービス

レファレンスサービスとは、利用者の皆さんの身近な疑問や調べたいことを、職員が相談にのり、いっしょに調べもののお手伝いをするサービスです。

暮らしの中のとらえた疑問や、趣味、仕事、学校の「調べ学習」など、何でも気軽に相談してください。



利用者に聞きました

子どもたちに、本の読み聞かせをしています。読み聞かせ用の本を探しているときに、職員の人から「これ面白いですよ」とすすめてもらうこともあります。自分の好みだけでなく、いろいろな分野を紹介してもらえるので、本の種類の幅が広がります。



増田 由樹代さん(原町) 結ちゃん

す。本の選び方の勉強にもなりますね。

また、子どもが絵本を探しやすいように、絵のある表紙を見えるように置いてあります。